

**平成21年度第2回北海道ブロック協議会  
第2回北海道代協常任理事会  
議事録**

平成21年9月16日(水)13:00~17:00  
於：札幌センチュリーロイヤルホテル

出席者

本部副会長	福澤 久	福島	理事	町野 泰明	札幌	理事	古宇田 渉	苫小牧
本部常任理事	高梨 重勝	函館	理事	梅基 伸男	札幌	理事	多和 康司	千歳
会長	向出 明彦	札幌	理事	見上 峰夫	札幌	理事	伊藤 輝雄	函館
副会長	阿部 實	札幌	理事	山崎 善仁	札幌	理事	小野 修	函館
副会長	石岡 憲義	函館	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	吉田 和彦	釧路
副会長	長尾 忠正	釧路	理事	寺田 賢	旭川	理事	酒井 惇	帯広
副会長	羽山 和広	帯広	理事	山本 仁	旭川	監事	長太 義雄	札幌
専務理事	山口 史朗	札幌	理事	林 昌宏	旭川	監事	木下 裕章	小樽
常務理事	末原 正二	札幌	理事	鈴木 雅裕	小樽	事務局員	藤田 和代	札幌
理事	佐々木雅之	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧			

司 会 専務理事 山口史朗

**1. 開会の辞 (多和康司)**

**2. 会長挨拶 (向出明彦)**

1、代理店に対する保険会社の対応(保険業務の押し付け、手数料ポイントの削減)について、  
厳しいというより、度を逸している感がある。本日の会議を含め、代理店存続をいかに図る  
かの討議もして欲しい。

**3. 日本代協副会長挨拶 (福澤 久)**

1、各単協の一般社団法人化にかける意気込み、自主確立、自立の道を歩んでいる。  
2、本部においても、11月中に公益社団法人への移行申請提出に向け作業を進めている。

**4. 日本代協常任理事挨拶 (高梨重勝)**

1、会員が一致団結し、生きた北海道代協を作り上げて欲しい。

**5. 倫理綱領の朗読 (木下裕章)**

**6. 議長選出**

議長には長尾忠正副会長(釧路)が指名され、承認を得た。

また議事録作成者に末原正二常務理事(札幌)、議事録署名人に山口史朗氏(札幌)、長太義雄  
氏(札幌)が指名され了承を得た。



## 7. 議 事

### [ I ] 報告事項

#### (1) 各支部報告（会議資料参照）

<補記>

札幌支部：9月24日より30日まで札幌支部会員名入りの広告を地下鉄各車両全線に掲示する。また、9月24日のタウン誌「オントナ」にも掲載する。

「北海道代協」名入りのウィンドブレーカーを作成した。

室蘭支部：9月に「無保険者追放キャンペーン」をする。

「地震保険普及キャンペーン」はチラシのポスティング

11月には消費者協会との懇談会、新聞への掲載等を企画している。

旭川支部：北見支部立ち上げを目標とし、北見地区よりセミナー等に来てもらう

小樽支部：幹事会に新しいメンバーが加わった。

苫小牧支部：今後の幹事会、9月にはセミナー、勉強会を予定している。

千歳支部：会員すべてが各委員会に所属してもらうよう企画している。

DRP ネットワークの説明会を開き、会員の勧誘をしている。

函館支部：9月「無保険者追放キャンペーン」、10月損協との「盗難防止キャンペーン」

新聞広告による「認定保険代理士」の紹介

釧路支部：無保険者追放キャンペーン、DRP ネットワーク全道大会、「地震普及キャンペーン」等を予定している。

帯広支部：ボーリング大会、交通安全の啓蒙活動、

#### (2) 日本代協理事会報告（向出明彦）

議事録参照

#### (3) 日本代協常任理事会報告（高梨重勝）

議事録参照

#### (4) 日本代協委員報告

##### ■ 組織委員会（伊藤輝雄）

1、7月16日第2回本部会議が開催された。今年度12,000会員、目標達成の意気込みが確認された。

2、年金基金加入会員の促進、ちなみに北海道の目標は21名。

3、メールアドレス登録の推進

■ 教育委員会（山崎善仁）

1、第12期保険大学受講者目標35名を超える42名となった。

2、第13期以降1月案内、3月より募集

■ 企画環境委員会（吉田和彦）

8月21日平成21年度第2回本部会議。会議資料参照

■ 地球環境社会貢献委員会（林 昌宏）

1、会議資料参照

2、各支部のボランティア活動を事務局へ掲げて欲しい。

■ 政治連盟（梅基伸男）

1、8月11日本部会議があった。

2、今年度衆議院議員選挙にて108候補者を推薦し、内64名が当選した。

北海道においては、鳩山候補、吉川候補に陳情書と共に推薦状を渡した。

3、会費の早期納入を要請

## (5) 委員会報告

■ 事業委員会（町野泰明）

1、DRPネットワークへの参画(キャンペーン、森と緑の会への寄付等)

2、他の事業への参画(ドライブレコーダーの販売、総合警備保障システムの販売等)

## [II] 審議事項

### (1) ① 会員増強

各支部、今年度末までの会員増強目標を設定した。

支部名	前年度末	9/1現在	目標数
札幌	128	124	130
室蘭	16	16	17
旭川	77	75	82
小樽	18	17	19
苫小牧	27	24	27
千歳	23	22	23
函館	75	74	77
釧路	86	84	88
帯広	49	48	50
合計	499	484	513

### ② 国民年金基金

各支部、今年度末までの加入会員、増強目標を設定した。

札幌	3	千歳	2
----	---	----	---

室蘭	2	函館	3
旭川	3	釧路	3
小樽	2	帯広	2
苫小牧	2	合計	22

## (2) 委員会運営のあり方、方向性

- 苦情処理委員会：苦情処理依頼書については再度会議をひらき、雛形的なものがないか討議してみる。
- 事業委員会：会費の不足分を補う為「DRP事業の参画」「マツダレンタカー利用」等の推進を図っている。  
「ALSOK」の事業に北海道代協として参画することが決議された。
- 山口専務理事：会員がすべての委員会に所属するよう推進してはどうか。
- 室蘭支部：会員は各保険会社の情報を聞きたがっている。
- 吉田委員：郵政、保険事業についてのモニタリングをしているので報告して欲しい。
- 向出会長：委員会の存在意識を高めていただくよう、活発な委員会活動をお願いしたい。  
又、委員会の集約された意見は本部に報告したい。

## (3) 支部会費の一元化について

☆ 山口専務理事より問題提起。

- 1 公平性の観点より「正会員」「一般会員」の仕分け
- 2 会費の集金方法(納入先)、その後の分配
- 3 会費一律については「会員増強」の視点から背反するものがある。

以上早急の結論は求めないが、方向性についてでも意見を聞きたい。

### <会費について>

札幌支部：3万と6万円会員がいる。現在の支部運営については一代理店の募集人が多くなり、6万円会員が若干増えている。

室蘭支部：2年前より3万の会費にしているが、1万は支部活動として必要だ。

旭川支部：役員会では募集人割の会費納入の方向性を考えている。1人は2万5千円、2人以上は3万円。

小樽支部：ほとんどが法人代理店で、会費の値上げについては問題ないと思う。

一元化については異論がないが、募集人人数により会の金額が違うのは、釈然としない。

帯広支部：会費2万5千円で何とかやっている。北海道代協2万円の中身を知りたい。集会、イベントのときは必要であれば、その都度会費を徴収している。

函館支部：ディーラーの会員勧誘は難しい。

釧路支部：5千円をアップする。支部にお金が残ってこそ活動ができる。

会費の統一化には賛成である。

苫小牧支部：会費の一元化には賛成。2万5千円からの値上げには、会員の減少も予想され

る。

千歳支部：2年前に2万円から2万5千円にした。一元化には異論がなく、3万円くらいが妥当と思う。

☆ 今後は理事会において議論を深めて生きたい。

### [Ⅲ] その他

○ 認定保健代理士申請のとき、保健会社が申請書に印鑑を押印してくれない。

☆ 山崎教育委員にまずは相談して欲しい。

## 8. 閉会の辞（鈴木雅裕）

議事録作成者	末原正二
議事録署名人	山口史朗
議事録署名人	長太義雄